

生活に気付き，生活をつくる 生徒をめざして

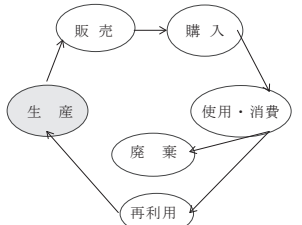
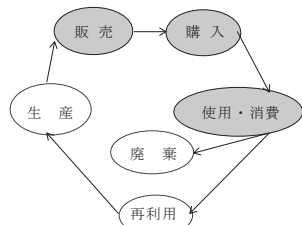
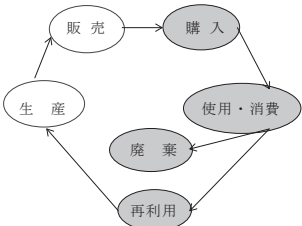
わたしたちの生活は，モノの消費によって成り立っている。モノ，それらはもとをたどれば，地球の資源や自然の産物である。モノの「生産」「販売」「購入」「消費（使用）」「廃棄」の一連の流れの一部を担うわたしたち消費者は，「循環型社会」を目指して，行動していかなければならない。しかしながら，生まれたときから快適で，あふれるほどのモノに恵まれた生活をしている生徒にとって，現在の生活は当たり前であり，自分たちが地球の資源を消費して豊かな生活を送っていることには気付いていない。

そこで，自分と環境とのかかわりを見つめ，よりよい消費生活をつくる生徒の育成をめざして，本研究に取り組んだ。

1. 生活と環境を結びつけた問題解決的な学習の展開

本研究では，生徒自らが自分の消費生活の問題点に気付き，興味・関心をもってそれを解決できるように3段階で指導計画を構成した（表1）。

表1 「身近な消費生活と環境」指導計画(9時間配当)

題材名 (モノ・ストーリーとの関連)	時	学習課題(学習内容) 【学習形態】	学習指導要領
1 消費生活について考えよう 	1	「モノ・ストーリー」をつくろう ・わたしたちの生活とモノの消費 ・わたしたちの生活と環境とのかかわり ・消費生活の課題 <問題把握>	D(1)ア D(2)ア
	2	【ワークショップ】	
2 消費者としての自覚をもとう 	3	いろいろな販売方法と支払い方法の特徴を知ろう ・物資とサービス ・販売方法と支払い方法 【ロールプレイング】	D(1)イ C(1)イ
	4		
	5	家族のための家電を選ぼう ・情報の収集と選択 ・商品の選択と購入 【シミュレーション・ゲストティーチャー】	D(1)イ
	6	消費者トラブルから自分を守ろう ・中学生に多い消費トラブルとその注意点及び対処法 ・消費者の権利と責任 【シミュレーション】	D(1)ア
3 よりよい消費生活をつくろう 	7	ペパバッグを作ろう ・身近な材料を使った再利用 【製作】	D(2)ア B(2)ウ B(3)ア C(1)イ C(1)ウ
	8	エコアクションを考えよう ・生活を見直す 【家庭での実践：エコマラソン】	
	9	これからの消費生活を考えよう ・将来も住みよい地球のために自分ができること ・これからの消費生活 【ミニ討論】	

第1段階「消費生活について考えよう」では，身近な消費生活と環境とのかかわりに気付かせる。1，2時間目を内容のガイダンスとして，消費生活と環境を関連付けた「モノ・ストーリーをつくろう」の授業を行った。この授業を自分の生活を見直し問題点に気付かせる「問題把握」の時間とし，そこで出た問題点を解決，探求する指導過程を第2，第3段階に設定した。

第2段階「消費者としての自覚をもとう」では，ロールプレイングやシミュレーションなどの活動を通して，商品の選択と購入について具体的に考えさせる。

第3段階「よりよい消費生活をつくろう」では，循環型社会をめざして，環境に配慮した生活の工夫を考え実践させたり，消費生活についての自分の考えをしっかりとせたりすることで，主体的に行動できる消費者を目指す。「モノ・ストーリー」を一貫して指導計画に組み入れた。

2. 実践例

(1) モノ・ストーリーをつくろう 1. 2/9

生徒の身近な「モノ」として，ペットボトルのお茶やカップめん，Tシャツなどを取り上げ，それらの「モノ」の生産から廃棄・再利用までの流れをグループで考えた。図に表すことで，自分の消費生活と環境とのかかわりに気付き，問題点を見つけることができた。

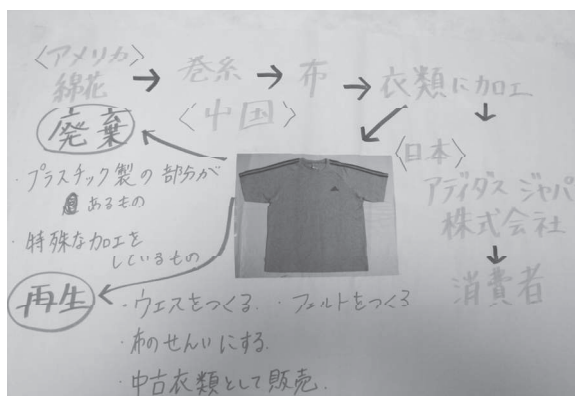
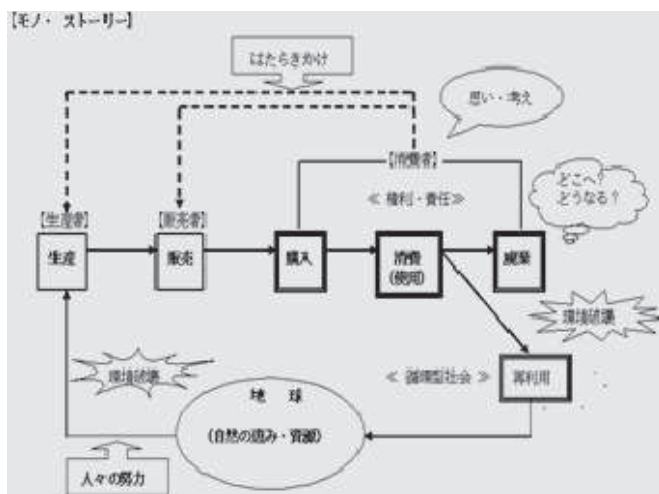


写真1 Tシャツのモノ・ストーリー

(2) エコアクションを考えよう 8/9

徹底してごみを出さないエコ生活を送っている、スウェーデン人の生活を視聴して、環境に配慮した生活について話し合った。

モノを「購入するとき」、「使用するとき」、「処分するとき」のそれぞれの段階で、考慮すべきことや、自分にもできる環境に配慮した生活の工夫を考えた。生徒は環境に配慮した行動が簡単にできることに気が付き、家庭にかえって家族とともにエコチェックを行った。そこから自分の家庭の問題点を見つけ、環境に配慮した生活を実践するためのエコアクションを家族で考えた。その後、家庭で実践を行った。生徒は小さな取り組みでも環境に配慮した生活ができたことに達成感を感じ、これからも継続して取り組むことへの意欲が高まった。

<生徒の感想>

- ・資源を無駄にしないように、リサイクルをしっかりとっていきなさいと思った。

・エコな生活はちょっとした工夫でできるのだなあ、と思った。案外簡単なので、これから取り組んでいきたい。



写真2

エコマラソン表

(3) これからの消費生活を考えよう 9/9

ペットボトルの生産量の変化のグラフから、大量生産、大量消費、大量廃棄の現状を知り、現在の消費生活の問題点に気付いた。よりよい消費生活のために、消費者の一人として自分はどのように行動するのか、モノ・ストーリーを振り返り、班で討論を行った。話し合った内容を基に、これからの消費行動についての自分の考えを明確にした。



写真3 班での話し合い

3 研究の成果

モノ・ストーリーを基にした問題解決的な学習の様々な取り組みを通して、自分の消費生活が環境と密接にかかわっていることに気付くことができた。これまでの自分の消費行動を振り返り、電気や水道などの無駄のない使用や、本当に必要かどうかを考えた商品の購入など、環境と資源についての意識が高まった。

家庭での調査や実践を行うことで、我が家の消費生活について家族とともに考えることができた。このことで、生徒も消費者の一人であるという意識が高まり、主体的に消費生活を送ろうとする態度を養うことができた。